

技能評価システム移転促進事業（SESPP）

事業実施報告書【ベトナム】

- ◆2018年7月16日（月）～7月18日（水）
- ◆ベトナム・ハノイ市 ハノイ工業大学（HaUI）
- ◆旋盤2級・フライス盤2級 技能評価技法（SEM）

2018年7月

1. 事業の全体概要

- (実施期間) 2018年7月16日(月)～18日(水)
(実施場所) ベトナム社会主義共和国・ハノイ市
ハノイ工業大学(HaUI)
(職種) 旋盤2級・フライス盤2級 技能評価技法(SEM)
(講師) 稲川 文夫氏 (SESPP事務局 技術顧問)
(参加者数) 受講者6名

(実施日程)

日時	活動名(指導内容)
7月16日(月) 08:30～16:30	【技能評価技法】 旋盤2級学科試験問題(真疑法)の作成指導
7月17日(火) 08:30～16:30	【技能評価技法】 旋盤2級学科試験問題(真疑法)の作成指導
7月18日(水) 08:30～16:30	【技能評価技法】 フライス盤2級学科試験問題(真疑法)の作成指導

2. 講評

◆ 総評

- 今回の研修で旋盤2級及びフライス盤2級の True-False の問題集が完成した。
この問題集を使って、旋盤で6回分、フライス盤で4回分の技能検定試験の問題が準備できる。
また全問題の3割(25問中7問)を重複して使用すれば、準備できる回数を大きく増やすことができる。
将来、これをベースにして問題改定を行い、問題数を増やせばより使い勝手のよい問題集になることが期待できる。
- 今回の問題作成指導を通して、参加者は、基準と細目の科目詳細に対応した問題を作るコツがつかめたように思う。
- 今後、問題集の改定を行う際には、今回の参加者が指導的な役割を果たしてくれることが期待できる。
- 9月、11月に実施を予定している技能評価技法研修で、旋盤2級及びフライス盤2級の Multiple choice の問題集が完成すれば、ベトナム側で自立して継続的に旋盤、フライス盤の技能検定試験が実施できる基盤が整備されたといえる。

3. 受講者へのアンケート結果

◆ 受講者 6 名（回答者 6 名）

満足度： 大変満足=6名	満足度	100%
役立ち度： 大変役立つ=6名	役立ち度	100%
継続性： 是非継続すべき=6名	継続希望度	100%

【最も意義深いプログラムはなんでしたか】

- ・ 総合的かつ奥深い知識の枠組みに基づいた問題の作成方法
- ・ 特定の知識枠組みに基づく問題集の論理的な作成方法
- ・ 旋盤作業の問題の作成方法

以上